

令和3年度

第2回柏市社会教育委員会議

会議資料

令和3年11月2日

## 柏市社会教育委員 委員名簿

所属等	職務名	氏 名 ※敬称略
柏市立逆井小学校	校 長	ながしま まりこ 長島 麻利子
柏市立柏第二中学校	校 長	いまい あつし 今井 敦
柏市青少年健全育成推進連絡協議会	会 長	あらい まさひこ 荒井 真彦
柏市障害者等社会参加コーディネーター		いしがき ひろこ 石垣 裕子
さわやかちば県民プラザ	所 長	いわさき まさお 岩崎 雅夫
柏市社会福祉協議会	地域福祉課長	たかはし ふみなり 高橋 史成
多世代交流型コミュニティ実行委員会	代 表	つねの まさとし 常野 正紀
柏市ふるさと協議会連合会	監 事	とみたや みえこ 富田谷 三恵子
柏市PTA連絡協議会	会 長	まえかわ よろず 前川 万
みんなの子育て広場支援コーディネーター		しもじ きょうこ 下地 今日子
開智国際大学教育学部	教 授	てらもと たえこ 寺本 妙子
市民公募		ふるはし ようこ 古橋 洋子

任期：令和3年6月1日から令和5年5月31日まで

## 柏市教育委員会 出席職員名簿

所 属	職 名	氏 名
生涯学習部	部 長	みやじま こうじ 宮島 浩二
生涯学習課	課 長	おきもと まさき 沖本 雅樹
	統括リーダー	やなぎぬま はじめ 柳 沼 肇
	担当リーダー	やまもと さとこ 山本 郷子
	主 事	なかざわ まさみ 中澤 真海
	生涯学習専門 アドバイザー (生涯学習分野)	はえぬき ひろたか 萌拔 博孝
		いわぶち ひろみ 岩 渕 弘美
中央公民館	館 長	やまおか やすひろ 山岡 康弘

## 次 第

- 1 開 会
- 2 生涯学習部長あいさつ
- 3 議長・副議長あいさつ
- 4 議 事
- 5 協議事項
- 6 事務連絡
- 7 閉 会

## 目 次

1	前回のふりかえり	1
2	放課後子ども教室の取組について	3
3	事例発表	4
4	参考情報	5
5	協議事項	6
6	社会教育委員会議開催予定について	7



# 1 前回のふりかえり

## (1) 今期社会教育委員会議のテーマ

### 提言の実践に向けた取組

提言「生きる力を育む体験への関わり

～子どもたちの健やかな成長のためにできること～

ア 「大人自身が楽しもう，大人同士がつながろう」

イ 「子どもを主役にする関わり方を工夫しよう」

今後の活動の提案：地域連携ルーム等の設置と活用

提言を受けて、「放課後子ども教室」を活用した体験活動や遊びの場の提供の具体化（放課後の子どもの居場所づくり）に取り組めます。

### 生涯学習推進計画の推進

第4次柏市生涯学習推進計画（計画期間：令和3～7年度）

「笑顔と元気が輪となり広がるまち柏～学びを通じた地域活性化～」

#### 目指す方向性

- ・子どもたちが健やかに成長するように
- ・コミュニティの中に人と人のつながりがふえるように
- ・すべての人が学べる環境に包まれるように

## (2) 第1回会議の主な意見

### 提言書について

- 地域の大人同士のつながりを大事にしたい
- 子どもを主役に展開する活動には意義がある
- コロナ禍の課題を踏まえ、できることを議論していきたい
- 地域連携ルームの活用には効果が期待できるので、課題を整理すべき

### 今期のテーマについて

- 地域と学校の連携により、全ての子どもが必要な学力と体験が得られるような取組ができるとよい
- 補充学習（現在の放課後子ども教室）にもニーズがあるが、選択肢が増えるのは良いこと
- 大人との関わりや、交流による居場所は大事
- コミュニティ・スクールとのつながりで展開するには放課後子ども教室は適している

### 地域連携について

- 学校はビジョンを示すことが大事
- 地域側の窓口になる人材は大事
- 子どもたちの為にという思いや活動は多いので、学校と連携して進められると良い
- 地域の活動事例の紹介多数



## ② 放課後子ども教室の取組について

### (1) 活動報告

別添資料参照

「放課後子ども（小学生）の居場所づくり  
～柏市放課後子ども教室の新しい形～」（抜粋）

### 3 事例発表

#### (1) 発表者

柏市立花野井小学校 中澤清人校長  
学校支援地域本部 花サポ会  
学校支援地域コーディネーター 山崎一雄氏

#### (2) 説明資料

別添参照

- ・ 「花サポ会」の沿革（地域住民の学校支援体制作り）
- ・ 花野井小学校PTA広報紙（令和元年11月発行）

## 4 参考情報

### (1) 令和3年度コミュニティ・スクールについて (R3.9.10 現在)

- ・令和5年度末を目途に，市内小中学校 63 校全校で学校運営協議会を設置し，コミュニティ・スクールとなる予定
- ・令和3年度末現在で 14 校区 26 校(中学校 8 校，小学校 18 校)で開設予定
- ・令和4年度，令和5年度で 37 校(中学校 13 校，小学校 24 校)において順次開設，全校への設置が完了する予定

	学校区	構成校	開設年
1	西原中学校区	西原中，西原小，十余二小（十余二小はR2～合流）	R元
2	柏の葉中学校区	柏の葉中，柏の葉小	
3	富勢中学校区	富勢中，富勢小，富勢西小，富勢東小	R2
4	柏第五中学校区	柏第五中，柏第四小，高田小	
5	酒井根小中学校	酒井根中，酒井根小，酒井根西小	
6	柏第一小学校	単独設置	
7	土南部小学校		
8	酒井根東小学校		
9	旭東小学校		
10	柏中学校		
11	高柳中学校区	高柳中，高柳小，高柳西小	R3
12	藤心小学校	単独設置	
13	豊小学校		

※上記のほか，令和3年度に柏第二中学校で開設予定

### (2) 市内小中学校の地域連携ルーム設置状況 (R3.9.10 現在)

学校名	備 考
土小	
増尾西小	利用は土日のみ1室を開放。多世代交流での利用。現在はコロナで活動休止中。
手賀西小	
柏の葉小	
中原中	PTA 地域ルームとして PTA と青少協が共有している。会議が重なった場合は，どちらかが別室で行う運用としている。
高柳中	

## 5 協議事項

### (1) グループワークの実施

#### 今回の議題

地域連携ルーム等の設置と活用にはどんな可能性があるか  
地域の大人が学校とつながり、大人の活動をつなげていくにはどの  
ようにしたらよいか

#### 提言書（抜粋）

##### 1 地域連携ルーム等の設置と活用

地域連携ルームを、地域の人が学校に立ち寄り教員や子どもたちと交流する場と位置付け、個々の活動のつながりの拠点とします。

ただし、設置にあたっては学校の実情に応じて余裕教室の活用等により行われることを想定します。

##### 2 地域と学校の連携で守りたいこと（学校目線・会議の発言から）

①② 略

③ 学校と地域がウィンウィン（win-win）の関係であること

学校のウィン(win)：子どもが育つこと

地域のウィン(win)：学校・保護者・地域が仲良くなること

- ・年に1度のイベントよりも小刻みのふれあいを！
- ・親世代や教員にない目線の提案がうれしい

### (2) 議題についての補足

- ・ご自身が関わっている地域の特性や活動経験を踏まえ、地域連携ルームでどう生かせるかなどについて考えて下さい。
- ・花サポ会の事例発表を聞いての協議でも結構です。
- ・多くのアイデアを集め、今後の議論につなぎたいので、具体的な方法や活動についての協議をお願いします。

### (3) グループワークの方法

- ・2班（A班，B班）に分かれていただきます。
- ・議題について話し合うとともに内容を付箋に記入して下さい。
- ・30分間協議した後、話し合った内容の発表をお願いいたします。（班ごとに発表者を決めて下さい。）

## 6 社会教育委員会議開催予定について

### <令和3年度>

第1回  
(書面会議)

- ・委嘱状交付
- ・議長及び副議長の選出
- ・今期の検討テーマの概要説明
- ・令和3年度生涯学習部主要事務事業概要報告

第2回  
(11月2日)

- ・放課後子ども教室の取組について(経過報告)
- ・テーマに関する事例発表と情報共有・意見交換(グループワーク)

第3回  
(2月)

- ・テーマに関する講話と情報共有・意見交換(グループワーク)
- ・社会教育関係団体補助金交付状況報告

### <令和4年度>

第4回  
(6月～7月)

- ・前年会議の振り返り
- ・テーマに関する活動報告と情報共有・意見交換(グループワーク)
- ・令和4年度生涯学習部主要事務事業概要報告

第5回  
(10月～11月)

- ・テーマに関する活動報告と情報共有・意見交換(グループワーク)
- ・生涯学習推進計画進捗報告

第6回  
(1月～2月)

- ・社会教育関係団体補助金交付状況報告
- ・今期社会教育委員のまとめ

